



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

- 【資料名】** 三本備中鍬
【年代・来歴】 明治・大正・昭和期まで使用。製作年代は明治期
【寸法】 (柄)長さ88cm (刃床)長さ30cm
【材質】 (柄)木製、(刃床)鉄製
【保存状態】 概ね良好



【略説明】

かつての稲栽培では、ぬかるんだ土で作業をするための専用の農具が使われていた。

備中鍬は田起こしなどに用いられ、江戸時代に誕生したといわれている。刃床を複数本に分割することで、打ち込みの際の土の付着を少なくし、作業効率を向上させた。

【注記】

資料の所蔵元である農業科学博物館は、岩手県立農業ふれあい公園の一角に所在している。「岩手の農業の過去・現在・未来を楽しく体感できる施設」を掲げ、「農業れきし館」では、江戸時代以降の農業、農村生活の移りかわりを知ることができる農機具、生活用具、馬産、人物などの展示が行われており、岩手の農業の歴史と人々の生活と文化を探ることができる。

同博物館では年4回の企画展示を実施しており、企画内容に応じた農具や民具などの展示も行っているほか、イベントなどで一部の農具を実動展示するなど、展示・収集品の積極的な活用を行っている。

【所蔵機関】 岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

【住所】 岩手県北上市飯豊 3-110

【連絡先電話番号】 0197-68-3975

【所蔵先URL】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/park/>

【閲覧】 応相談

開館時間：9時～16時30分(入館は16時まで)

休館日：毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：高校生以下無料、大学生140円、一般300円

(個人)